

岡山後楽園幻想庭園「能楽の夕べ」

# 船弁慶

令和3年8月21日(土)  
午後5時20分開演(午後4時45分開場)  
於 岡山後楽園能舞台

ライトアップされた庭園と、  
世界無形文化遺産の「能楽」を楽しむ。

【協賛】 Fujiwara / テレビせとうち / Benesse / 株式会社 ウエスコホールディングス  
株式会社ホーセン / 医療法人渡辺医院 老人保健施設ゆめの里 / エイシン学院

共催：後楽園魅力向上委員会  
主催：桐英会 梶谷英樹



桐英会特別公演 岡山後楽園幻想庭園「能楽の夕べ」

番組

お話し

観世 喜正

舞囃子 高砂

田口 亮二

大鼓 原岡 一之  
太鼓 金春惣右衛門  
小鼓 古田 知英  
笛 八木原周平

地謡 北浪 貴裕  
馬野 正基  
浅見 慈一

舞囃子 船弁慶

林 宗一郎

大鼓 原岡 一之  
小鼓 古田 知英  
笛 八木原周平

地謡 北浪 貴裕  
下川 宜長  
浅見 慈一

一調 小塩

謡 大島 衣恵

太鼓 梶谷 義男

一調 善界

謡 観世 喜正

太鼓 金春惣右衛門

休憩

能「船弁慶」の解説

大島 衣恵

能 船弁慶

ワキ 村瀬 提

重半前後之替 間 茂山 茂

大鼓 國川 純  
太鼓 梶谷 英樹  
小鼓 飯富 孔明  
笛 梶宅 聡

ツレ 清水 義久  
シテ 清水 義也

後見 浅見 慈一  
下川 宜長  
地謡 北浪 貴裕

馬野 正基  
田口 亮二

(終演 午後七時十五分頃)

■ 舞囃子「高砂」 (たかさご)

肥後国 阿蘇宮の神主・友成が播州高砂の浦に立ち寄ると、松の木陰を掃き清める老夫婦に出会う。老翁は友成に高砂と住吉の松の誦われや松のめでたさを物語ると、自分は相生の松の精だと明かし、住吉で待つと告げて沖へ消える。友成が舟で摂津住吉に渡ると、残雪に月光が照り映えるなか住吉明神が出現し、千秋万歳を祝って舞を舞う。結婚式などでも謡われる神能を代表する名曲です。今回は面や装束を付けず紋付袴で舞う「舞囃子」で、有名な「高砂や…」の謡も含む、住吉明神が「神舞」を颯爽と舞う後半部分をお届けします。

■ 舞囃子・能「船弁慶」 (ふなべんけい)

平家追討の後、兄・源頼朝と不仲となった義経は西国へ逃れる途上、大物浦に立ち寄るが、そこで帯同していた静御前を帰還させる決断をする。二人にとっては最後となる酒宴で、静は悲しみをこらえて舞を舞う。その後、義経一行が出航すると突如大嵐となり、波間に義経に滅ぼされた平家の大將・平知盛の幽霊が現れる。弁慶が数珠を押し揉み法力で撃退すると亡霊は次第に遠ざかり海に消える。能「船弁慶」は、一人のシテが前場は静御前、後場は知盛の亡霊という全く別の役柄を演じる珍しい形式の曲です。海上を漂う亡霊の様子を「波足」という特殊な足さばきで表したり、荒波を表す激しいお囃子など、見どころ十分の人気曲です。「舞囃子」では前半の静の舞の場面を、「能」では後半の海上での攻防の場面をご覧ください。



江戸時代後期、築庭を命じた藩主・池田綱政は、能に熱心ですぐれた舞い手でもありました。昭和 20 年の空襲で能舞台も焼失したため、現在の舞台は綱政の子・継政時代の遺構をもとに復元。鏡板の老松と右板壁の竹の絵は、郷土の画家・池田遙邨画伯の筆によるものです。

日 程：令和 3 年 8 月 21 日 [土] 17:20 開演 / 16:45 開場

会 場：岡山後楽園能舞台

チケット：前売・当日共 全席自由 2,500 円 (後楽園入園券付き ※前売券限定)

【チケットお申込み・お問合せ】

公演事務局 TEL: 086-222-3580 / FAX: 086-222-3582 (梶谷)

岡山後楽園 TEL: 086-272-1148

※未就学児および飲酒されてのご入場はお断りさせていただきます。  
※主催者に許可のない写真撮影、録音、録画等は一切禁止といたします。  
※靴箱の用意はございません。配布のビニール袋に入れて各自管理をお願いいたします。  
※【当日券は能舞台前での販売】となりますため、後楽園入園券は別途お買い求めください。(入園券分の割引はございません)

- ◎ 今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況次第では、中止(延期)の場合もございます。開催の可否については、岡山後楽園ホームページ(幻想庭園)でお知らせします。
- ◎ 万一中止の場合は来年 8 月に延期となります。お手持ちのチケットがそのまま有効となりますので、必ず保管してください。※日程詳細などはホームページで告知いたします。チケット紛失の場合、再発行はいたしませんのでお気をつけください。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、以下のご協力をお願いいたします

- 風邪のような症状・発熱がある方、その他体調が悪い方は入園・入場をご遠慮ください。
- 入園・入場の際、消毒液で手指を消毒してください。
- ほかのお客様とは、十分な距離を保ちながらご散策・ご観覧ください。
- マスクを必ず着用し、咳エチケットにご協力ください。また、大声での会話はお控えください。(このほか、入園・入場をご遠慮いただく場合があります。詳しくは岡山後楽園ホームページをご確認ください)

梶谷 英樹 / 桐英会主宰

太鼓方金春流、昭和 45 年岡山県生まれ。幼少より祖父・尚太郎の手ほどきを受け、6 歳で二十世家宗 故 金春惣右衛門(人間国宝)のもとに入門。国内各地および海外公演にも数多く参加。東京・神奈川を拠点に活動。岡山では、父・義男とともに年に一度、後楽園能舞台にて社中会を開催している。

梶谷 義男

太鼓方金春流、昭和 16 年岡山県生まれ。岡山金春会主宰、地元愛好者の指導にあたる。後楽園能舞台にて昭和 34 年より毎年、50 余年にわたり社中の大会を開催。